

2003年5月12日

日立ホーム&ライフソリューション株式会社

株式会社 日立情映テック

株式会社 日立リビングサプライ

家電リサイクルの2002年度の集計結果について

日立ホーム&ライフソリューション株式会社、株式会社日立情映テック、株式会社日立リビングサプライの各社は、2001年4月から本格施行された特定家庭用機器再商品化法（以下：家電リサイクル法）に基づき、エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機の4品目についてリサイクルを進めてきました。

今回、2002年度（2002年4月1日～2003年3月31日）のリサイクルの集計結果がまとまりましたので、以下の通り発表します。

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 関係

(1) 総合計

項目	エアコン	冷蔵庫	洗濯機
指定引取場所での引取台数 (台)	209,587	413,803	488,738
再商品化处理台数 (台)	207,447	412,864	484,549
再商品化等処理重量 [A] (トン)	9,047	23,286	14,037
再商品化重量 [B] (トン)	7,242	14,536	8,656
再商品化率 [B/A] (%)	80	62	61

数値はすべて小数点以下を切り捨てて表示しています。

(2) 再商品化したもの（上記の再商品化重量）の内訳

（製品の部品又は材料として利用する者に有償又は無償で譲渡し得る状態にした、部品及び材料の総重量）

部品又は材料	エアコン	冷蔵庫	洗濯機
鉄 (トン)	2,373	10,060	5,278
銅 (トン)	426	149	129
アルミニウム (トン)	18	56	35
非鉄・鉄などの混合物 (トン)	4,198	3,326	2,482
その他の有価物 (トン)	224	944	729
総重量 (トン)	7,242	14,536	8,656

(3) 回収した冷媒

冷媒	エアコン	冷蔵庫	洗濯機
フロン (kg)	97,870	36,522	

株式会社日立情映テック 関係

(1) 総合計

項 目		テレビ
指定引取場所での引取台数	(台)	373,799
再商品化处理台数	(台)	374,464
再商品化等処理重量 [A]	(トン)	9,866
再商品化重量 [B]	(トン)	8,004
再商品化率 [B / A]	(%)	81

数値はすべて小数点以下を切り捨てて表示しています。

(2) 再商品化したもの（上記の再商品化重量）の内訳

（製品の部品又は材料として利用する者に有償又は無償で譲渡し得る状態にした、部品及び材料の総重量）

部品又は材料		テレビ
鉄	(トン)	710
銅	(トン)	383
アルミニウム	(トン)	9
非鉄・鉄などの混合物	(トン)	62
ブラウン管ガラス	(トン)	5,981
その他の有価物	(トン)	855
総重量	(トン)	8,004

株式会社日立リビングサプライ 関係

(1) 総合計

項 目		テレビ
指定引取場所での引取台数	(台)	1,474
再商品化处理台数	(台)	1,442
再商品化等処理重量 [A]	(トン)	37
再商品化重量 [B]	(トン)	30
再商品化率 [B / A]	(%)	79

数値はすべて小数点以下を切り捨てて表示しています。

(2) 再商品化したもの（上記の再商品化重量）の内訳

（製品の部品又は材料として利用する者に有償又は無償で譲渡し得る状態にした、部品及び材料の総重量）

部品又は材料		テレビ
鉄	(kg)	2,698
銅	(kg)	1,490
アルミニウム	(kg)	30
非鉄・鉄などの混合物	(kg)	256
ブラウン管ガラス	(kg)	23,040
その他の有価物	(kg)	2,748
総重量	(kg)	30,262

今後の取り組みについて

株式会社 関東エコリサイクル(* 1)は全国で唯一の「生産工場と一体の循環型工場」であり、このプラントで得られる情報を製品設計へフィードバックするとともに、「ネオマテリアルセンター」(* 2)との連携を図りながら、今後の新製品の再商品化率向上に活かしていきます。

また、日立ホーム&ライフソリューション株式会社が三菱電機株式会社、三洋電機株式会社、シャープ株式会社、ソニー株式会社、株式会社富士通ゼネラルとともに構築した家電リサイクルシステムについては、今後とも相互利用を継続し、効率的なリサイクルを推進していく計画です。

(* 1)日立ホーム&ライフソリューション株式会社では、栃木事業所の構内に、使用済み家電製品のリサイクルを行う会社として、株式会社 関東エコリサイクルを1999年5月に設立しています。

(* 2)日立ホーム&ライフソリューション株式会社の関連会社・日立多賀テクノロジー株式会社内に、廃プラスチックのマテリアルリサイクルの事業化のため「ネオマテリアルセンター」を2001年2月に設立しています。洗濯乾燥機の台枠及び洗濯機の外槽と台枠には、「ネオマテリアルセンター」でペレット化した樹脂を採用しており、今後も製品への適用拡大を推進します。

お問い合わせ先

日立ホーム&ライフソリューション株式会社 環境推進部 [担当：北畠、来島]

〒105-8410 東京都港区西新橋二丁目15番12号 日立愛宕別館

TEL 03-3506-1493(ダイヤルイン)

以 上

このニュースリリースに掲載されている情報は、発表日現在の情報です。
発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。
